

まちの日記帳



食中毒を予防しよう！

4/17

余市地方食品衛生協会の積丹支部（杉山覚支部長）と美国支部（佐藤晃支部長）の共催による食品衛生講習会が町総合文化センターで行われました。

この講習会は、本格的な観光シーズンを迎えたたくさんの観光客が目当てに訪れるウニ漁の解禁を前に、安全・安心な食の提供について再認識してもらおうと行ったもので、飲食業や旅館業等を営む関係者34人が参加しました。

後志保健福祉事務所の職員を講師に、食中毒の発生原因や予防方法などについて説明を受け、参加者はメモをとりながら真剣に聞き入っていました。



リフレッシュ学級開級！

4/27

今年度第1回目のリフレッシュ学級が町総合文化センターで行われました。

20人が参加した開級式では、近藤教育長の挨拶に引き続き、町社会教育委員長の奈良清一さんを講師に「歴史を学ぶ」と題して、同氏がライフワークとしている源義経について、その生涯や史実に基づいての研究成果や思想などについて話され、参加者は興味深げに聞き入っていました。

なお、今年度のリフレッシュ学級は、全7回計画されています。



積丹の味を召し上がれ！

町地場産品販売促進協議会（佐藤勝次会長）は、4月28日から30日、5月3日から5日までの6日間、岬の市場前でホッケのすり身汁などを販売しました。

これは当協議会のゴールデンウィーク期間中の恒例行事で、すり身汁や焼きツブ、焼きホタテ、地元産の焼きトウキビなどを格安で販売し、岬の湯じゃこたんの入浴客や観光客らが続々と訪れ、積丹の味覚に舌鼓を打っていました。



“善意”で豊を新品に！

5/1

積丹歌謡クラブ（佐藤晃会長）は、このたび豊（表替え）44枚を町に寄贈しました。

同クラブは、毎年チャリティー歌謡ショーを開催し、その売り上げの一部を町内の福祉団体へ寄付するなど慈善活動を行っています。

寄贈された豊44枚は、今年2月に行われた歌謡ショーの売り上げの中から購入したもので擦り切れなど老朽化の著しかった町総合文化センター1階娯楽室の全ての豊が張り替えられました。

佐藤会長は、「このように張り替えることができたのも、歌謡ショーのチケットを購入してくださった皆さんのおかげです。とても感謝しています。」と話していました。



元気に帰ってきてね！

5/11

北海道が事業主体となり進めているニシン稚魚が美国漁港に搬入されました。

これは、ニシンの群来復活を願い、当町では平成16年度から行われているもので、この日は水産技術普及指導所（余市町）や東しゃこたん漁協美国支所青年部等により、道栽培漁業振興公社羽幌事業所から運ばれた体長5cmほどの稚魚5万4千尾が同港内のいけすに移されました。

今後は、漁港内で3週間ほど中間育成し、体長7cmほどに育てたのち沖合に放流する予定となっております。



ナイスショットに気分も爽快！

5/12

第17回B & G杯争奪ゲートボール大会がふれあいゲートボール場で行われました。

大会には4チーム24人が参加し、心地よい春の陽気の中、ナイスショットを連発していました。なお、大会結果については、次のとおりです。

【優勝】入舸ゲートボール愛好会（代表 川井 順應）

【準優勝】余別・野塚ゲートボール愛好会

（代表 新井田明見）

【第3位】美国ゲートボール愛好会（代表 熊本 和子）

